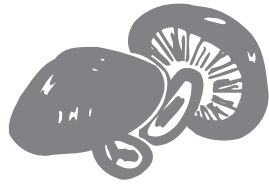


平成18年10月



もろつかそん 議会だより

第111号

編集
議会だより編集委員会
発行
諸塚村議会
〒883-1301
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683
電話(0982)65-1130



諸塚中 体育大会








郡体女子リレーチーム

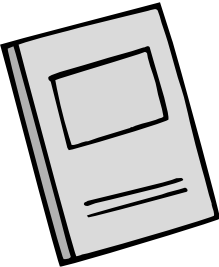




見どころ

平成17年度 一般会計決算・・・2 P
平成18年度 一般会計補正予算・・・4 P
一般質問・・・・・・・・・・・・・・5～8 P
条例の制定・改正・・・・・・・・・・・・9 P
視察報告・・・・・・・・・・・・・・11 P

年度一般会計決算認定

■(歳出)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費
				
59,068千円	499,117千円	268,294千円	156,494千円	803,543千円
1.0%	8.8%	4.7%	2.8%	14.2%

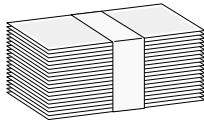

商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費
				
40,794千円	331,534千円	22,704千円	237,088千円	2,357,580千円
0.7%	5.9%	0.4%	4.2%	41.6%

(歳入額)

58億75,910千円

(歳出額)

56億70,581千円

その他の予算	公債費
	
205,730千円	688,635千円
3.6%	12.1%

(第3回定例会)平成17

総括意見

平成17年度一般会計では、当初予算歳出を22億円以上も上回る56億7,000万円余りの決算額となった。これは台風14号災害によるもので、歳入の特徴として災害等による特別交付金、国庫支出金及び県支出金の増額となつて表れている。国の推進する三位一体の改革に伴い、普通交付税の減額が続く中で、地方債が縮小された事は評価すべきと考える。歳出においても災害復旧費に関する事業が全体の41.6%を占めている。

義務的経費は、公債費償還のピークが減少に転じた事や退職者の不補充による事が成果

として表れている。事務事業の見直しは、中でも補助事情の10%の削減は効果的ではあるが、投資効果を考慮すると、今後は慎重な対応が望まれる。2年連続の台風災害を受けながら事業の変更又は中止を余儀なくされたにもかかわらず高額となつた予算執行に努力された役職員の労に対し、深く感謝の意を表する次第である。次年度に繰越された事業も多額となり、又、財政構造も一段と厳しさを増す中で、一般会計、特別会計の一層の健全化と適正化を図りつつ、最少の経費で最大の効果を挙げることは言うまでもなく、住民本位の執行を念頭に、更なる村政の発展のために最

善の努力を期待し総括の意見とする。

個別意見

1. 固定資産税の不公平課税の是正
2. 災害に備えた要援護者の避難体制の確立



決算の審査風景

平成17年度特別会計決算

(千円)

	決 算 額
国民健康保険	223,162
老人保健	344,037
介護保険	246,440
簡易水道	37,104
公共下水道	75,099
病院会計	249,137

平成18年度 一般会計補正予算 3億90,391千円の補正



七ツ山コインランドリー



佐礼の集会所

主な補正内容

- せせらぎの里備品購入補助……………1,500千円
(乾燥機2台)
- ヘルスアップ事業……………6,441千円
- 七ツ山地区コインランドリー移設工事……………908千円
- 佐礼地区集会所整備……………12,650千円
- 災害復旧(林道・耕地・土木)……………237,100千円

平成18年度特別会計補正予算

(千円)

	補正額	計
国民健康保険	41,375	280,269
老人保健	23,781	388,570
介護保険	7,745	263,340
簡易水道	1,454	45,304
公共下水道事業	1,058	27,499
病院事業	2,791	334,291

一般質問

福祉バスの運行について

西田喜一郎 議員

本村は65歳以上の高齢者の割合が35%で、年々高くなってきており、並行して体が不自由になり運転できないお年寄りも増えつつある。県内では、このような車のない世帯、移動手段の困難な方々の足の確保に福祉バスを運行している自治体がある。諸塚村でも早急



地域路線バス

な取り組みができないものか？また、路線バスを運行している民間の業者と、福祉バスについて協議や相談をしたことはないか？

村長

宮崎市を始めとして幾つかの市町村で運行されているが、運営が必ずしも良い状況ではない。買い物や諸塚病院に通院する高齢者の交通事情は、半数以上が家族を含めて隣人・知人を頼っているようである。高齢者の皆さんを送迎する方法として福祉バスを導入するかどうかは現段階で具体的には決まっていない。民間業者との協議も正式に行っていないが、どういう方法が良いのか早い機会にプロジェクトチームをつくり検討してみたい。

総合運動公園施設の運営について

中本 洋二 議員

村直営の運動公園施設が赤字運営となつていく。すぐに黒字は無理でも赤字額を小さくさせる経営努力は必要。更なる合宿の誘致や村内住民の利用者増加のため、(六峰館・プール・トレーニング場など)施設の内容を充実し、ユニークな取り組みをして、使用料金の設定や宣伝の仕方等、一度見直してはどうか？

Rに努め、利用促進を図っている。水中トレーニングが関節障害や肥満防止に効果があることから、プールでの健康指導を検討している。六峰館などの使用料はかなり低く設定されているので、今後は料金の見直しも検討課題としたい。

村長

維持管理に要する経費が年間約1,000万円、使用料収入は17年度で95万円と1割に満たない。スポーツ関係団体への幅広いP



合宿所 六峰館

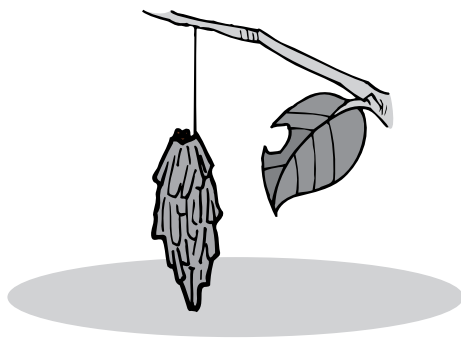
ゴミの減量対策を

中本 洋二 議員

去年はすべてのゴミ処理に約2,300万円かかり、その内1,000万円以上が燃えるゴミにかかっている。住民福祉課の指導で住民の意識も良い方向へ変わっていると感じるが、もう一歩、特に燃えるゴミを減らすため具体的な策を検討していく考えは？

村長

排出量を抑制するところが負担金の減につながる。現在資源ごみの分別徹底を皆さんにお願いしている。その他の減量化対策としては、生ゴミの堆肥化やゴミ処理手数料の有料化が考えられるとこ



ろ。また、可燃ゴミをどうすれば資源ゴミに分別できるかを一人ひとりが気を付ければ減量効果がいっそう期待できると思う。

公共用財産の適正管理を

甲斐 正昌 議員

村道敷地のほとんどが地権者からの非課税無償借り上げ地である一方、公共用財産をはじめ村が借り上げて使っている土地はすべて有償で、条例の定めにもかわかわらず非課税の借り上げ地もある。このような不公平の是正策として、「村道敷地をすべて買収する」とした上で、登記については特区の申請をする」など特例で処置する方法は考えられないか？また、現在村有地として登録・未登録の村道敷地の面積、地目、筆数、地権者を表示したものを提出してほしい。

村長

ご指摘のように村道としての適正な処置がなされていないという点は事実であるが、「土地は無償でも」と強い要望があったことと、

30〜40年も積み重なったものなので、これを短期間に処理することは極めて至難で残念ながら適切な解決策がない。道路台帳の整備が義務付けられているので、処理できるものを取り組む。また特区等については、今後十分参考させていただく。



大規模林道

次期村長選挙について

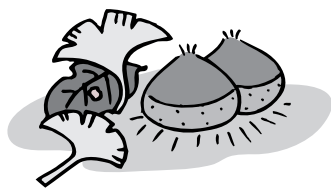
松村 晃三 議員

成崎村長は本村の基幹産業である農林業を中心とした施策を展開し、FSC森林認証を取得した林業立村を目標とした。また合併問題にも真剣に取り組み、対話と協調をモットーに自立の道を選択した。村内外でも評価は高く続投をという声が上がっているが、来年4月の選挙に2期目の立候補をする考えはないか？

これらの計画も道半ばといったところ。今後は耳川防水特別対策事業の導入などに全力で取り組み、これらの問題にある程度の道筋をつけるのが私に与えられた役割と思っている。今までご支援ご協力いただいた皆さん方の意見も聞きながら考えて参りたい。

村長

自立の道を選択し、時代に対応できる村づくりをどう進めるかについて検討してきたが、2年続きの大型台風の災害復旧等に追われ、



医師の確保について

西川紀代子 議員

医師不足が深刻な問題となつている。本村の病院も交付金カットや患者の減少により厳しい経営となつているが、2人の医師に恵まれ村民にとって有り難いことである。県では医師奨学制度が設置され大変好評のようです。本村でも医師確保のため独自の奨学制度はできないものか？若いうちは都会で技術を習得し、将来は諸塚に帰つて来てもらうという約束をするのも一つの手段だと思ふ。

村長

県としては県内出身の医師を県外に出さないシステムづくりも検

討している。村独自の医師奨学資金制度の創設については、村単独か県の事業とタイアップしていくのが検討課題。派遣医師の継続

についてはこれからも県に対し強く要望していく。今後は国の動向に注視しながら医療サービスを下させないよう改築計画・経営方針を確立して、病院事業の健全化に努めて行きたい。



諸塚村立病院

職員の資質向上対策について

中田 政雄 議員

本村の職員の能力について近隣町村から高い評価を得ていることは喜ばしい。しかし、職員の資質向上はいつの時代でも大事であり、特に自立をした本村においては第一に取り組

むべき課題である。他町村では、職員からの提言を受け付ける「職員提案制度」とグループ研究を支援する「自主研究グループ活動育成制度」を創設したところがある。職員の潜



在能力を発見するため、このような制度を導入する考えは？

村長

厳しい財政状況のなか、今まで以上に効率的な行財政の運営を図ることが求められている。現在本村においては、市町村振興協会が実施する研修に職員を随時参加させており、17年度は5つの研修に5名を参加させている。施策の発見や人材育成を図るための職員の提案制度導入は、提案箱を住民ホールに設置しているものの現在は皆無の状況。職員の意識向上などを目的に、課の統合とグループ制導入の研究会を課長補佐会を中心に立ち上げているところ。

工事請負契約の締結

契約の目的 小布所小八重線橋梁災害復旧工事
契約の方法 指名競争入札
契約の金額 157,500,000円
契約の相手方 宮崎県延岡市土々呂町6丁目163番地

清本鉄工株式会社
代表取締役 清本 英男



小布所橋の工事

条例の制定及び 一部改正

- 諸塚村行政改革推進委員会設置条例の一部改正
※村民の意見を広く聴き、行財政改革を行う必要性から現行の条例の一部を改正するもの。
- 国民健康保険条例の一部改正
※70歳以上の定率負担の引き上げ（現役並所得有高齢者の負担→2割から3割となる）
※出産育児一時金の引き上げ（30万円→35万円）
- 諸塚村条例の左横書き及び用語等の整備に関する措置条例の制定
※村例規をデータ化することに伴い、現行例規の左横書き改めと併せて用語等の整備を図る。
- 諸塚村議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定
※公職選挙法の規定により、村条例を制定し、次期村議・村長選から掲示場を公営で設置するもの
- 諸塚村小規模特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例の制定について
※指定管理者制度移行に伴い一部改正の必要性が生じる。
- 諸塚村老人デイサービスセンター設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
※第50号に同じ。
- 諸塚村しいたけの館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
※第50号に同じ。
- 諸塚村森林公園管理条例の一部を改正する条例の制定について
※第50号に同じ



しいたけの館

意見書の提出

◆全国森林環境・水源税の創設を求める意見書◆

森林の持つ公益的機能に対する新税として、「全国森林環境・水源税」を創設し、森林を有する山村地域の市町村がその維持・育成のための財源を確保できるようにすることを強く求める。

◆七ツ山郵便局の集配業務廃止に反対する意見書◆

七ツ山郵便局の集配業務の廃止を、地域住民の合意と納得を得ないもとでは行なわないよう特段の配慮を求める。



七ツ山郵便局

随想

梅田 義輝

椎葉村の台風災害の復興の様子がテレビで放映されていた。地域住民が総出で、被災して水が来なくなつた水田へ水を引いたり、道路の修復をしたり、特に生き残つた杉の大木にだきつく持ち主や、墓地が土砂崩れに合い、引き上げた墓石を手でなで回す場面は、目頭があつくなつた。

諸塚村ほどではないが全国の市町村は地理的、地形的条件が厳しい、そういう所へ都市部と同じ様に非効率の名の元に改革を進められたらたまらない、当然のごとく、その改革によつて、中央と地方の格差は増々広まつて、経済政策もそうである、都市部と山間地のまったく条件の違う所を市場経済としようとして競争させたら差がつく

のは当たり前である。おりしも、新総裁が誕生した、これから格差是正の為に再チャレンジ政策をかかげている。私には良くわからないが、都市部の経済的失敗者を少し救つてやりましよう位にしか見えてこない、もつと地理的、地形的条件や教育文化の是正など格差が固定化しない社会を真剣に考えてほしいものである。

諸塚村や椎葉村を始め全国の山村では厳しい財政事情の中、住民と協働で災害復興や事業推進に当たっている。政治家やマスコミも一時的な経済成長ばかりに目を向けるより、長つづきする社会を作り上げる為に、社会の縁の下の力持ち山村文化にも、目を向けてほしいものである。



ペレットボイラー

視察報告

森林エネルギーの町をめざして ～森林・林業日本一へ町ぐるみの挑戦～

岩手県 住田町 面積334km² (うち森林面積300km² 90%)
人口：6,833人

その後、山林の荒廃を防ぐことの重要性和被害を繰り返さないために、「林業廃棄物をエネルギー」として有効活用できれば自前のエネルギー資源となるばかりでなく、地球環境問題や国土保全の機能を維持しながら新たな産

業の創出による地域振興にもつながる」と考えるようになり、新エネルギーへの取り組みを始めました。

今回視察した住田町は、キウウリ、イチゴ、葉タバコ、乳牛等の農業と、森林資源を生かした木材加工の林業を基幹産業としており、林業面では諸塚村とよく似ています。

戦後30年積極的に植林を進め、良質な杉の生産地として知られましたが、輸入材の進出や国産材の価格下落により林地が放置されるようになりました。またH10の集中豪雨で山林に放置された残材が流出、大水害となり下流に大きな被害をもたらしました。

その後、山林の荒廃を防ぐことの重要性和被害を繰り返さないために、「林業廃棄物をエネルギー」として有効活用できれば自前のエネルギー資源となるばかりでなく、地球環境問題や国土保全の機能を維持しながら新たな産

業の創出による地域振興にもつながる」と考えるようになり、新エネルギーへの取り組みを始めました。

これまでの取り組み

H12年

住田町地域新エネルギービジョンを策定

H15年

木質エネルギー利用調査を開始

H17年

木質ペレット製造施設の設置

H18年(予定)

ペレットボイラーの導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

灯油などの代替エネルギーとして利用する場合、採算面に不安を残すが、今後は公共施

発電の際の余剰熱を利用した園芸ハウス

の実証試験

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)

の導入(灯油ボイラーからの入れ替え)



ペレットストーブ



木質ペレット

設の熱源をバイオマスへ転換することを普及し、町民の理解を深めるため、地域エネルギーの地産地消を目指し「森林エネルギーの循環」を前向きに図っていきたくと考えている。 ※現在、諸塚村も、地域新エネルギービジョン策定に取り組んでいます。

7月24日、林野庁長官を表敬訪問し、

- ・ 違法伐採問題への対応強化
- ・ 地域森林活動支援交付金の継続

を要請しました。



林野庁長官と



COC認証しいたけの出荷式



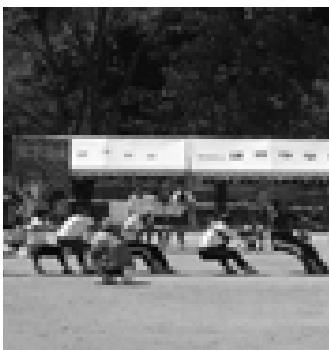
今年も台風による災害が発生しました。



国道503号期成同盟会



台風10号で再びたい積した砂利



編集委員一同、読みやすい議会だよりになるよう努めてまいりますので、これからもご愛読をよろしくお願いたします。

編集委員一同

編
集
後
記

朝晩が肌寒く感じる季節となりました。
今年には台風の直撃はなかったものの、村内至るところで豪雨による災害が発生しました。「もしも…」のことを考えて常に危機意識をもちましょう。

さて食欲と運動の秋、おいしいものがたくさんできてワクワクしますね。何をやるにも健康が一番。暴饮暴食に気をつけて、適度な運動をして、自分自身の健康管理をお互いしっかりとやって行きましょう。